

令和元年度第2回八千代市総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和2年3月26日(木)
開 会 午前10時26分
閉 会 午前11時22分
- 2 場 所 市役所 旧館4階 第2委員会室
- 3 出席者 【構成員】 市長 服部 友則
(敬称略) 教育委員会教育長 小林 伸夫
教育委員会委員 石井 伸一
教育委員会委員 須堯 福美
教育委員会委員 佐藤 志津
教育委員会委員 川嶋 一永
- 【説明員】 教育次長 吉村 昌彦
教育次長 林 雅也
教育委員会 参事 蕨 茂美
教育総務課長 島津 俊明
学務課長 長島 秀一
指導課長 嶺岸 秀一
保健体育課長 加藤 英昭
教育センター所長 村上 恒和
文化・スポーツ課長 春田 泰宏
- 【事務局】 企画部長 小川 勝
企画部 次長 加藤 博士
企画経営課 主任主事 諸坂 純平

4 開 会

○服部市長 皆様、おはようございます。ただいまから、令和元年度第2回八千代市総合教育会議を開会いたします。

会議の進行につきましては、八千代市総合教育会議の運営に関する要領第3条第1項の規定により、会議の主宰者であります私が務めさせていただきます。

それでは会議の開会に当たりまして、一言、御挨拶を申し上げます。

5 市長挨拶

○服部市長 委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、令和元年度第2回八千代市総合教育会議に御出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より本市教育行政の推進に御尽力をいただいておりますこと、重ねて御礼を申し上げます。

さて、本日の議題の中で報告事項として取り上げておりますが、新型コロナウイルス感染症につきましては、現在も世界各国において新たな患者の発生報告が続いており、日本国内においても感染者が増加している状況でございます。

先月27日には、国から小・中学校、高校、特別支援学校の臨時休校の要請があり、本市におきましても、今月2日から23日までを臨時休業と決定し、また、社会教育施設等の市内の公共施設においても、屋内の施設は、今月末までを臨時休館とし、感染拡大防止のための措置を講じたところでございます。

このたびの臨時休業等にあたりましては、準備期間が短い中、児童生徒、保護者の皆様をはじめ、関係者の皆様の御理解・御協力により、迅速な対応ができたと考えております。

今後も感染拡大防止のため、迅速かつ適切に対応してまいりたいと考えております。

これまでの対応の詳細等につきましては、会議の中で御報告いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

本日の議題ですが、議題1「学校施設長寿命化計画について」、議題2「事業等の進捗状況及び報告事項について」、議題3「その他」の3件でございます。

議題につきましては、後程、事務局より説明がありますので、御意見などを賜り、有意義な会議とさせていただきたいと考えております。

以上、簡単ではございますが、開会の冒頭にあたり御挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしくお願いいたします。

6 議事録署名人の指定

○**服部市長** 次に、議事録署名人の指定をいたします。私のほか、小林教育長、お願いいたします。

○**小林教育長** はい。

○**服部市長** よろしくをお願いいたします。

それでは、議事に入らせていただきます。

7 議 題

○**服部市長** 議題1は「学校施設の長寿命化計画について」でございます。

以前から課題となっている「学校施設長寿命化」につきましては、老朽化状況の実態把握と改修の優先付けなど、資産管理課等と調整の上、計画を策定する必要があると考えております。

また、学校施設としては、校舎のトイレ改修も大きな課題となっておりますことから、長寿命化にあたっては、トイレの改修も併せて進めるなど、効率的・効果的な手法を検討する必要があると考えておりますが、教育委員会の考えをお聞かせください。

○**島津教育総務課長** はい。

○**服部市長** 島津教育総務課長。

○**島津教育総務課長** ただいま市長から話のありました「学校施設長寿命化について」でございますが、本委員会といたしましては、財務部において策定中の「八千代市公共施設等個別施設計画」の中で把握した、学校施設に関

する事項を基に策定していくこととしております。令和2年度中の策定に向けまして、現在、ハード面の実態・課題・改善の方向性を検討しているところでございます。

また、トイレにつきましては、「学校トイレ整備改修計画（第1次）」に基づき、児童生徒が普段使用する普通教室周辺のトイレについて、各階最低1箇所を乾式化・洋式化をするための整備を行ってまいりました。来年度分で一通り終了する予定でございます。

次期計画となる「学校トイレ整備改修計画（第2次）」では、校舎内で未整備のトイレ、また避難所となる学校体育館のトイレの多目的トイレの設置などについて、学校の状況等を勘案しながら、今後策定予定の八千代市公共施設等個別施設計画との整合を図りつつ、策定してまいりたいと考えております。

○服部市長 ありがとうございます。

委員の皆様から御意見・御質問等があれば、お願いいたします。

○石井委員 はい。

○服部市長 石井委員。

○石井委員 学校の校舎については、3, 40年経過しているものが非常に多いと思うのですが、この改修をすることによって、耐用年数がどれぐらい伸びるか教えてもらいたいなと思います。

○服部市長 事務局わかりますか。

○島津教育総務課長 はい。

○服部市長 島津教育総務課長。

○島津教育総務課長 耐用年数ですけども、現状の把握として、どれだけ傷んでいるのかということとですね、これからどれだけの年数、この公共施設は使われていくのだろうかということも加味しまして、改修の順番、修繕する箇所というのを決めていくところございまして、何年使うかというのを検討した上で、どれだけ手を入れるかということを検討しているところでございます。

○石井委員 近年、見ておりますと本当にひどくなっております。雨漏りにしても、外壁にしても、いろいろな部分で。この表現が合っているかわ

からないですが、対症療法的というか、なったらそこだけちょっとやっているのですよ。

そうではなくて、30何校がちゃんと、何年かごとにグルグル回れるように、それで、予防的に維持管理をしていただけると、もうちょっと使いやすく、長持ちするのではないかなという部分があるので、そういう部分も考えて欲しいですし、これから改修をしていくと思うのですが、そこでやはり古い建物なのでバリアフリー、防災対策の部分に関しても昔のままのところも多いと思うので。

私も2年前にちょっと病気をしまして、若干不自由な体になって、それまであまりわからなかった部分があるのですが、こうなってみると、学校に行くの大分動きづらいなと言いますか、本当にバリアがいっぱいあるなと感じるので、その辺もやはり障害だけに限らず、高齢化が進んでいて、学校にもっと来やすい雰囲気を作るのも大事かなと思います。

そういうバリアフリー、防災体制も一緒に考えて欲しいというのが、要望です。

○服部市長 今、石井委員から要望がありましたけれども、事務局として重く受けとめていただきたいというふうに思います。

他に御意見ありませんか。

○川嶋委員 はい。

○服部市長 川嶋委員。

○川嶋委員 今回は、エアコンはおかげさまで、入りましたけども、教育委員になり、各学校回っていると、やはり外壁が結構ひどいものあって、子どもたちが歩いていて、劣化して落ちるようなことも考えられるところも見受けられますので。

今、財務部で、令和2年度中に改修の計画をするということで話がありましたが、その中で学校に関しても、第一優先ではないですけども、優先度を高めてもらって、改修計画を作っていただきたいという要望をしたいと思います。

体育館においても、庁舎を延期して、避難場所に関して第一優先で改修するというので、体育館にも長期計画の中で、エアコン整備とかをしていた

できれば、いざという時に数百人の方々が入るわけですね。その中で夏の場合、逆効果になる可能性が出てくる可能性もありますので、計画の中に市長部局の方でも盛り込んでもらって、エアコンの整備を計画の中に入れてもらえればいいかなと思っていますので、ぜひお願いしたいと思います。

○服部市長 今回の御指摘に関しては、事務局というよりは私から答えた方がいいのかなと思います。

現在、体育館の雨漏り等々、避難所に対する最低限の設備ということで、対応させていただいているのですが、御指摘のとおり、夏の時期とか、長期に避難をしなければいけないということを考えたときには、体育館のエアコンも必要であろうと思うのですが、現況、千葉県内で体育館にエアコンを完備しているのは浦安しかない現状の中で、本市も近い将来と言ったらいいか、遠い将来というのかわかりませんが、最終的には避難所としての、完璧な避難所を求めるとすれば、空調設備も必要だろうというふうに思いますが、そう簡単にはいきませんので、当面は、特別教室とか普通教室にエアコンを今年度いっぱい設置いたしますので、そこをうまく使いながら対応していきたいと思っています。

将来的には、体育館にもつけられればいいなと思っておりますので、その辺で御理解いただければと思います。

○川嶋委員 長期的に考えていただければいいかなと思いますので、よろしくお願いたします。

○服部市長 あと何かございますか。

○須堯委員 はい。

○服部市長 須堯委員。

○須堯委員 石井委員からも出ましたし、川嶋委員からも出ましたけれども、外壁のことについてですが、新しくできた学校は、電車から見ても「いい学校できているのだな」と見るのですけども、もう30年経ってしまっって40年というような学校につきましては、外壁のベランダ側の錆とかがちょうど泣いているように、涙のように私には見えるのですね。なんか校舎が泣いているのではないかなと。よっぽどかわいそうなことになっているのだなと。

私は専門家でないので、打診して、それがどういったとかはわからないの

ですが、少なくとも錆が出て、それが風雪に耐えて、涙を流しているようになっているということは、何らかの措置をしないと、そこに通う子どもたちの不安感も、地域の人「どうしたのかな」というのも、外観で判断されるのではないかなと思うのですね。

そういったことをちょっと常々、気にかけておりましたので、述べさせていただきます。以上です。

○服部市長 震災直後、市役所の外壁以外でも、外壁が落ちてきたら危ないということで、打音検査というのですかね、あれをやった時に、地域の皆さんが外壁を直してもらえるものだと思ったら、ただ、落ちる外壁だけを落とすだけということで、がっかりされたという話を聞いておりますので、これも避難所のエアコンと同じですね、もう少し切実な問題として、外壁含めた学校の長寿命化ということを進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

あと何かございますか。よろしいでしょうか。

それでは私から、学校現場にエアコンも入りましたし、ICT環境等々も良い環境となっていますので、その中の環境を全て守るためにも、この長寿命化が必要だと思ひますので、これは時間が掛かってでも、まず調査をしてみても、大体1年間に何校程度で、どのぐらいのテコ入れが必要かというのは、すぐにでも判断をさせていただきます、なるべく短い期間で長寿命化、外壁を含めてできるような対応をしていきたいと思ひますので、今後もよろしくお願ひしたいというふうに思ひます。

それでは、議題2「事業等の進捗状況及び報告事項について」ということで、まず、教育委員会から個別に御説明をいただきたいと思ひます。

はじめに、議題2の①「新型コロナウイルス感染症対策について」対応の状況等について御報告願ひます。

○嶺岸指導課長 はい。

○服部市長 嶺岸指導課長。

○嶺岸指導課長 このことにおける学校教育に係ることにつきまして、これまでの主な対応等につきまして報告いたします。

令和2年2月27日に開催された政府の新型コロナウイルス感染症対策

本部会合で感染の拡大を防ぐための対応として、全国の小中高等学校等に対し、臨時休業を要請する旨の報道がなされました。これを受け、市対策本部会議等を経て、3月2日から3月23日まで、市内全公立小中学校の臨時休業の措置を決定、実施いたしました。また、学校預かりとして、学童保育所に通所していない、小学校1年生から3年生の児童及び特別支援学級在籍児童生徒を対象に、3月9日から、8時から14時半において、各校において実施いたしました。

卒業式、修了式等におきましては、時間短縮や対象者の制限等の措置を講じた上で、卒業式について中学校は12日、小学校は17、18日に実施、修了式は小中学校とも24日に実施をいたしました。

さらに春休み明けの学校再開等につきましては、始業式は、令和2年4月6日の月曜、入学式は、中学校7日火曜、小学校は8日水曜、給食開始は、9日木曜の実施を予定しているところでございます。

現在においても日本のみならず、世界各地で感染拡大が止まない現状等を受け、3月24日付で文部科学省より公表された「教育活動の再開等について（通知）」等を踏まえて、学校再開に向けた措置・対応を市長部局や各学校等と連携を密とした「オール八千代」体制で、適切に実施してまいりたいと考えております。以上でございます。

○**教育委員会 蕨参事** はい。

○**服部市長 蕨参事**。

○**教育委員会 蕨参事** 続きまして、社会教育施設等における対策につきましては、公民館・図書館など19施設を2月29日から、市民会館・市民体育館など16施設を3月1日から、全35施設を3月31日まで休館といたしておりましたが、総合グラウンドなど屋外施設9施設については、3月28日から利用を再開することといたしました。なお、図書館は、図書資料総合管理システム入れ替えにより4月2日までコロナウイルスとは別に臨時休館となっております。

休館期間中の使用料につきましては、全額返金する対応としております。

また、学校体育施設開放事業につきましても、2月29日から3月31日まで休止といたしておりましたが、校庭開放については3月28日から利用

を再開することといたしました。

今後も国の動向を注視しつつ、最大限の感染拡大防止に取り組んでまいりたいと考えております。

○服部市長 ありがとうございます。

それでは議題2の②「阿蘇・米本地域小中学校の学校適正配置について」御説明願います。

○長島学務課長 はい。

○服部市長 長島学務課長。

○長島学務課長 私からは、阿蘇・米本地域小中学校の学校適正配置の検討状況について御報告いたします。

昨年度3月に施設一体型小中一貫校から施設分離型小中一貫校設立へと当面の計画を変更し、これまで、保護者や地域の方の御意見を丁寧に伺ってまいりました。

保護者や地域の方からは、「クラス替えができるよう小学校3校を統合してほしい。」、「阿蘇小学校を今の場所に残してほしい。」、「はじめから現阿蘇中学校の位置に統合できないのか。」等の御意見を伺ってきたところです。

そこで、教育委員会といたしましては、改めて、いただいた御意見にある現阿蘇小学校への統合や現阿蘇中学校への統合の可能性について再検証いたしました。

はじめに、現阿蘇小学校への統合の可能性についてでございますが、阿蘇小学校は一時的な児童数増加に伴い、令和4年には教室数が不足することや給食室の稼働範囲が超えることへの対応が必要となります。教室不足に対しては、プレハブ教室での対応を検討いたしました。建設費だけでなく、建設のための搬入路の確保、その他、老朽化施設の改修等の費用が発生することが判明しました。

さらに、給食室の稼働範囲への対応につきましても、現在の調理スペースでは児童増への対応が困難であること、令和4年9月からのセンター配食への対応には搬入路の整備といった費用面だけでなく、児童の安全確保の面からも難しい状況が多々考えられます。

以上のことから、施設分離型の小中一貫校への整備費用と比較しても、財

政面、児童の安全面での課題が多く、阿蘇小学校への統合は難しい状況であるとの検証結果を得ました。

続いて、現阿蘇中学校への統合の可能性についてでございますが、この件につきましては、昨年度、施設分離型の小中一貫校へと方針の変更を提案した際の懸案事項でありました「阿蘇中学校で小中学生が共に生活することへの保護者の不安」、「通学の安全確保」、「施設一体型の小中一貫校設立のための財源の確保」等について、改めて見直しました。

まず、1点目の「小中学生が共に生活することへの保護者の不安」についてでございますが、今後の児童・生徒数の推計を勘案しても、現阿蘇中学校の校舎に教室及び特別教室を確保することは可能であること、さらには教室配置や校庭の使用を工夫することで、小学生と中学生の生活動線の重なりも減少できることを確認しました。

2点目の「通学の安全確保」につきましては、通学支援バスを利用人数や道路状況に合わせて使い分け、多くの児童がバスを利用できるようにすることで、安全な登下校の確保が可能になります。

3点目の「財源の確保」につきましても、先に述べましたように、既存校舎を整備することで、教室数等を充足できる見込みであり、施設分離型小中一貫校の整備後に施設一体型小中一貫校を整備するよりも、費用の縮減が見込めます。

これらのことから、現阿蘇中学校の既存施設を活用し、施設一体型の小中一貫校を開設することについては、懸案事項の解消が見込めるだけでなく、施設一体型小中一貫校のメリットを十分生かしながら教育活動の充実を図ることが可能であると判断いたしました。

加えて、「阿蘇・米本地域4校PTA連絡協議会」から提出されておりました請願が、13日の臨時教育委員会会議、19日の市議会総括審議でそれぞれ採択されております。

これらの経緯を踏まえまして、「阿蘇小学校、米本小学校、米本南小学校及び阿蘇中学校を統合し、施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）を次のとおり設立する。『位置 八千代市米本1914番地 阿蘇中学校』、『設置日 令和4年4月1日』」と方針を変更いたしまして、昨日の定例教育委員

会会議に議案を提出し、可決されたところでございます。

私からの報告は以上です。

○服部市長 続きますして、議題2の③「小中学校校舎空調設備設置事業について」です。進捗状況を含めて御報告願います。

○島津教育総務課長 はい。

○服部市長 島津教育総務課長。

○島津教育総務課長 小中学校の空調設備につきましては、PFI事業を利用して、整備いたしました。

当初のスケジュール通り、今週月曜日までに全33校の空調設備の竣工図通りの整備を確認したところでございます。

現在、3月31日付けの所有権移転の手続きを進めているところでございます。

なお、本PFI事業で整備をしました部屋の数は671でございます。

向こう13年間の維持管理は、既設の155と合わせ、826室について実施して参ります。

今後につきましては、4月中旬に整備事業者が、各学校を訪問し、使用方法を説明するとともに、稼働条件を定めた運用方針を各学校に対し周知して参ります。

このような予定でございます。以上です。

○服部市長 ありがとうございます。それでは次に「スクールロイヤー導入の検討状況について」御報告願います。

○嶺岸指導課長 はい。

○服部市長 嶺岸指導課長。

○嶺岸指導課長 昨今の状況において、各学校からのスクールロイヤーに係る問い合わせが増加傾向にあります。そのことを受け、現在、八千代市立小中学校においては、千葉県教育委員会の「スクールロイヤー活用事業」を利用しております。今年度、本事業を活用し、相談した学校が数校あり、活用した学校からは「スクールロイヤーの助言等が組織的な解決に向けて大変参考になった」という声が挙がっております。

手続きにおいても、申し込みから相談まで迅速に対応できるという実態か

ら、今後、当面においても引き続き、県スクールロイヤー活用事業を基本に対応していけると考えております。ただし、今後、法律に係る案件が増加していくこと等も想定されますので、市のスクールロイヤー設置についても、継続して研究を図って参りたいと考えております。

○服部市長 ありがとうございます。それでは次に「教育におけるICTの活用検討について」御報告いただきたいと思えます。

○村上教育センター所長 はい。

○服部市長 教育センター所長。

○村上教育センター所長 それでは、「教育におけるICTの活用検討について」御報告いたします。昨年度、新学習指導要領の実施に向けて、児童生徒の情報活用能力の育成と各教科等におけるわかりやすい授業の実現を主な目的とし、本市においても市内小中学校及び学校教育関係施設において、大規模な機器の更新を行いました。

研修による教員のICT活用指導力の向上につきましては、まず、システム導入時に学校種、学年、教科別に全職員対象の研修を実施しました。本年度は、夏季休業中の実技研修や初若年研修など、悉皆研修でのスキルやニーズに合わせた研修のほか、プログラミング教育を含めた希望研修を実施いたしました。

ICTを活用した実践についての調査・研究につきましては、各学校の情報教育担当教員や授業支援等を行っているICT支援員の報告により、学校での活用状況を把握するとともに、会員となっている情報教育関係団体や先進校等からの情報提供をもとに、教育の情報化に関する調査・研究を進めております。さらに、効果的な活用方法や優れたICT活用実践等につきましては、各種研修や機関誌等で積極的に教職員に紹介しているところでございます。

今後も、ICTの特性を生かして、児童生徒の能力、特性等に応じた教育が実施できるよう、計画的に学校における教育用コンピュータの整備・更新を進めるとともに、調査研究や研修を充実させることにより、教育の情報化による教育の質の向上を図ってまいります。報告は以上です。

○服部市長 ありがとうございました。

以上、①から⑤までの進捗状況についての報告がありました。議題2であります。

①から⑤までの各議題に関して、本日取り上げておりますけれども、市議会でもいろいろな議論をされている議員さんがおります。

市議会での議論は議論として、この場では、教育委員の専門職としての知見から、御発言をいただければというふうに思います。

それでは①から⑤について御意見、御質問ございましたら、挙手をもってお願いいたします。

○石井委員 はい。

○服部市長 石井委員。

○石井委員 八千代市は、まだコロナウイルスの感染の方はいないですが、昨日の報道を見ると、東京都で爆発的に増えていて、これからどうなるのか本当にわからないところもあると思うのですが、今後も出ないに越したことはないけれど、市内で、児童生徒、保護者、教職員に感染の事例が出た場合、どのように対応するのか、市では考えていらっしゃるのでしょうか。

○服部市長 これは僕から答えた方がいいですね。

八千代市でも一番懸念されるのが、市の職員の中に感染が出るっていうことが一番懸念されますので、前々回の対策本部会議で、職員に感染者が出た場合の対応を、所属長を中心に、庁内での情報共有と、あるいは保健所を含めた、その機関への報告等々をまとめまして、各職場全員に周知してもらっているところであります。

出たときは大変だと思いますけれども、最悪に備えて対応するのが対策本部だと思っていますので、その辺は万全を期してやっていきたいというふうに思います。

○石井委員 よろしくをお願いします。

○須堯委員 はい。

○服部市長 須堯委員。

○須堯委員 コロナに関してですが、良い対応していただいて、今のところ市は本当に落ち着いているかと思っています。

今は4月から開校した時のことが心配だなと思うわけです。それに加えて、

やはり休んでいた間の子どもたちの授業の補充ですね。そういったことも心配して、新しいことも取り組まなければいけない、前のこともやらなければいけない、このような状況です。

どうなるか心配しておりますので、意見として述べさせていただきました。

○服部市長 現行では、子どもたちに感染の兆しがありませんので予定通り、教育長、4月6日から通常再開ということによろしいですね。

○小林教育長 はい。

○服部市長 そういうことで今対応しております。

○石井委員 はい。

○服部市長 石井委員。

○石井委員 これはお願いといいますか、報道などでそういうことを耳にするのですが、医療従事者やその家族とかがいじめや差別に合っているという話を聞きます。絶対あってはならないし、みんな危険を顧みてやっているわけです。医療従事者もそうですが、感染が出た場合の本人やその家族も学校でのいじめだとか、起きないに越したことはないけれど、それがわからない。

学校もそれぞれ注意しながらやっていかなければいけないと思いますけど、市としても、そういうことが学校だけじゃなくていろいろな部分で起こり得ると思うので、事前にそういったことが起きないように対策を考えていただきたいというのが要望であります。

○服部市長 それに関しても、ちょうど前回の対策本部会議で、先ほどの職員から感染者が出されないようにという配慮の中で、今はどちらかというと、国内の移動よりも、海外へ行って感染して帰ってくるってパターンが多いので、それこそ不要不急の外国への渡航は自粛するようにということを、これも職場単位で皆さんに周知しているところですので、そういうことは起こらないというふうに信じております。

他のコロナ以外でも結構ですので、どうでしょうか。

○須堯委員 はい。

○服部市長 須堯委員。

○須堯委員 私は「阿蘇・米本地域小中学校の学校適正配置について」とい

うことについて、3点ほど意見を述べさせていただきたいと思います。

まず1点は小中一貫校ということになりますと、校舎や体育館の増築は予算的に難しいことは承知しておりますが、何と言いましても、小中一貫校の正門、そこから入って昇降口、廊下、教室と入って「わーっ」と思うような教室、安心して使えるトイレは、子どもに夢を与えるのに必要な環境だと思っております。

そこで、2点目。美しい環境が整えば、それまで統合に反対だった人の気持ちも変わるのではないかと思ったりします。そのことで、市や市長への信頼感も高まるのではないかと思っております。

最後に3点目なのですが、他の市町村の方が、八千代市初の、そして市内でも他市でも珍しい、素晴らしいと言われる小中一貫校を見たときに「なんだ、これまでの阿蘇中学校と変わらないじゃないか」、「詰めあわせただけではないか」というような思いも感じられたら残念だと思います。

教育の中身の勝負をするということはもちろんですけども、外観も大変重要で、これまでにないような、リフォームで環境を整えていただきたいと思います。

それが阿蘇・米本のまちづくりに繋がって、例えば米本団地に住む人も、増えてくるのではないかなと、あそこの学校に入りたいものだと思って、増えたりするのではないかなと、こういう思いを持っております。

そこで質問です。阿蘇中の改修工事について、子どもたちに「学校に来るのが楽しい」と言ってくれるような環境を整えてあげるのは、市の責任だと思っておりますが、いかがでございましょうか。

○服部市長 これは担当に答えてもらうべきだと思いますが。

○島津教育総務課長 はい。

○服部市長 教育総務課長。

○島津教育総務課長 委員の方がおっしゃるように限られた予算ではございますが、できる限りのことは、子どもたちのためにしてあげたいと。

そのためには財務部とも、また、設計をする部門とも、打ち合わせをしながら、できる限りのことを進めていきたいと考えております。

○服部市長 よろしいでしょうか。

○須堯委員 何と言いましても、想いは膨らんでもそれに伴う予算が伴わないと想いは萎んでしまいますので、費用対効果でよろしくお願ひしたいと思ひます。

○服部市長 他にございませんか。

○佐藤委員 はい。

○服部市長 佐藤委員。

○佐藤委員 私は通学の安全確保ですね。阿蘇・米本地域の小中学校に關することなのですけれども、これまで徒歩で通っていた米本地区の児童には通学バスが必要になるかと思うのですけれども、統合したことで、通学バスの費用が発生するというのは、避けてあげたいなっていうふうに強く願っているところでござひます。

ぜひですね、通学バスについては、無償にしてあげて欲しいなというふう
に思っているのですが。

この整備や、新たに生じる財政的な支援についてですね、市長はどのよう
にお考えでしょうか。

○服部市長 私は詳しい話はわかりません。ただし、少なくとも小学校3校
を統合するわけですから、統合により浮く経費がありますよね。それを考え
れば、スクールバスの経費を保護者に負担させるわけにはいかない。

それでもまだおつりが来ると思っているのです、当然スクールバスは無償に
できることだと思ひます。

○佐藤委員 大変安心いたしました。

市長がおっしゃっていたようにですね、小学校3校分の人件費、ランニン
グコスト等がかなり浮くと予想できますので、ぜひ小中一貫校の施設の設備
の整備等に十分に活用していただけたら、もうこれに勝るものはないなと思
っております。

よろしくお願ひいたします。

○服部市長 これに關して試算的にはっきり数字でこれくらいというのは
出ていますか。

出ていなければ、議論を進めていく準備委員会をこれから立ち上げていく
と思うのですけど、その中で、実はこれだけの経費が浮きますので、この部

分を小中一貫校のプラスの予算として、子どもたちあるいは保護者の皆さんに還元できますみたいなことが数字で表されるといいと思いますので、その辺はこちらの方から申し入れをしておきます。

よろしく申し上げます。あと何かありますか。

○川嶋委員 はい。

○服部市長 川嶋委員。

○川嶋委員 今、市長から今までのランニングコストが減る部分を新しい一貫校になった分にまわしていただけるという、非常にいい形で、教育委員会としても、喜んでおります。

ただ、期間的には、あと2年しかなく、令和4年4月ですよ。

あと2年間の中で、これから地元説明会をまた詰めて、建物の改修を進めていく上で、かなり日数がつまっている状況ですので、市の方も協力をしながら進めていかないと、開校に間に合わなくなってしまうと大変なことになってしまいます。

八千代市初めての一貫校となるわけですよ。

先ほど、須堯委員も言われたように、阿蘇・米本地域自体で子どもが減っているということで、人口が少し減っているということだと思えます。

当然、一貫校として八千代市初めての学校になりますが、子どもを持つ世代は教育熱心であり、衰退したところに引っ越しをするという方は、少ないと思います。

やはり一貫校になって、いい学校になってくれると、そこにまた行きたいということになると思います。

ということは、都市計画上も一環として考えた中で進めてもらえばいいのかなと思いますし、そういったまちづくりを阿蘇・米本地区につくって、一貫校を盛り上げる形の、市の政策としてやっていただければいいかなと思います。

ぜひお願いしたいと思います。

○服部市長 以前、URさんとお話したことがありまして。

というのは、どちらかというと反対されている方たちの意見の中で、「米

本団地から小学校なくすな」という声があったので、「URさんとして、そういう声に関してはいかがですか」と言ったら、「小学校がなくなるとか、なくなるのではなくて、米本団地にお住まいの皆さんにとって、よりよい環境になれば、そちらの方が望ましい」という話がありました。

また佐藤委員の方からもあったように、あの地区は、米本団地が唯一の市街化区域です。ですから、阿蘇・米本の小中一貫校に入れたいと思っても、米本地区に家を建てたりとかできませんので、あそこに入れたいっていう人は米本団地に、引っ越してくるしかないわけで、そうすると高齢化とか空き室とか問題になっているURさんにとっても、若い世代が米本団地に住んでくれるっていうのは米本団地の活性化にもなるので、私は、良い方に繋がるのではないかというふうに、URの皆さんはそう考えているみたいです。

あとは何かございませんか。

○石井委員 はい。

○服部市長 石井委員。

○石井委員 跡地利用のことなのですが、地域の方々は、学校をあの場所に残して欲しいという思いが本当に強かったと思います。

その思いがある中で、未来の子どもたちのために、今回の統合を了承してくれたという経緯があります。

跡地活用というのはすごく大事なことだと思うのです。そこに、小学校がなくなった部分、地域のコミュニティの中心、それに代わる素晴らしいものができるのが一番いいと思いますし、そういう部分に関しても地域の人の声をよく聞いて進めてもらいたいっていう思いと、八千代台東二小も跡地活用に相当時間が掛かってしまったと思いますが、小学校3校の跡地活用について、ある程度のスピード感を持ってやってもらいたいということがありますので、市長だけで考えてどうのこうのではないかもしれないですけど、跡地利用をどのように考えていらっしゃるのかをお聞きしたくて。

○服部市長 今、まさに私の思いを、石井委員が言ってくださったと思うのですが、東小学校と第二小学校の統合が決まった時点で、第二小学校の跡地利用は並行して考えなければいけなかったと思います。

ですから、それと同じ轍を踏むことはなく、統廃合が決まれば、当然、廃

校になる学校施設をどういうふうにするかというのは、地域の皆さんにも入っていただいて、地域の皆さんが「こういうふうになるといいな」というような跡地利用を並行して進めていくべきだと思いますので、東第二小学校の轍は踏まないように、私も思っておりますし、担当にもそのように指示をしたいと思います。

○石井委員 これはお願いで、教育委員会は、統廃合の準備とか手続きで忙しくなることは目に見えています。

この跡地利用に関しては、市長部局の方で責任を持って、しっかり進めていただきたいと思っておりますが、その辺はやっていただけるのかなと思います。

○服部市長 僕は専門ではないのでわかりませんが、阿蘇小学校は開校から相当時間が経っていますから、教育財産ではなくて行政財産だと思いますけども。

米本小学校、米本南小学校というのは行政財産なのでしょうか、それとも教育財産なのでしょうか。これは、そちらの現場の方はわかると思いますが。

○島津教育総務課長 はい。

○服部市長 教育総務課長。

○島津教育総務課長 学校として使っている間は、当然、教育財産ですけども、統合された後は、普通財産ということで、市の財産という意味では同じですが、今後、地元の方と相談しながら、活用方法は都市計画法などの法令の範囲内で活用できるということになります。

○服部市長 あえて確認ですけども、文部科学省への補助金の返還などといった問題は生じないで、八千代市としての普通財産として考えてよいわけですね。

○島津教育総務課長 はい。築年数もかなり経っておりますので、補助金の返還がたとえあったとしても、そう大きな額ではないと予想されます。

○服部市長 それでは、市長部局の資産管理課で責任を持って、跡地利用の議論をリードさせていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

あとは何かございますでしょうか。

○石井委員 はい。

○服部市長 石井委員。

○石井委員 スクールロイヤーは、最近よく耳にしますが、まだあまり聞き慣れない言葉といたしますか。今のところ、本市では常勤でというのは考えてないということでしたが、市役所には常勤の弁護士さんはいらっしゃいますか。

○服部市長 顧問弁護士がおりますが常勤ではありません。

何かあったときに相談する立場ですので、非常勤です。

○石井委員 そういったものは活用できないのでしょうか。

○服部市長 スクールロイヤー自体は市の事業ではないので。

これは確か、教育長が質問に答えていると思いますが、文部科学省の調査・研究を踏まえて、関係機関等とも検討してということだったと思います。

それで、なるべく多く機会ができるようには、教育長が答弁していますから、それはこれからも強化していきたいと思います。

○石井委員 これからどうなっていくのかわからないですし、法的に裁く前にそういう方の意見を聞いて、問題が大きくならないで収まると一番いいと思いますので、そういうところにうまく利用してやって欲しいなと思います。

○服部市長 裁判沙汰になる前に、専門家が入って上手くまとめるというのが一番いいと思います。これは、これから大事なことになると思います。

あと何かございますか。

○川嶋委員 はい。

○服部市長 川嶋委員。

○川嶋委員 ICTの関係です。おかげさまで、八千代市は予算をつけていただいて、千葉県下でもトップクラスの設備になっているということですが、これから進めていく上で、設備があっても、指導や生徒の利用の形がこれから一番大事になってくると思います。

電子黒板やタブレットを主体としているというなかで、タブレットに関しては、八千代市では4クラスに1クラス分の配置という形で、文部科学省によると令和5年までには、1人1台という形で進めるということ。

八千代市でも、令和5年度までに1人1台ってということで、予算的には厳しいのかもしれませんが、市の方でも協力してもらい、進められればいか

など思っております。

何か今回も、子どもたちのプレゼンテーションか何かで、かなり成果を上げているということなので、今の子どもたちは、タブレットを使って、いろいろな形で授業ができる、教科書でない、また違った形の授業ができるのではないかと思いますので、市の方で協力していただいて、なるべくICTに関しての協力をしていただければと思っておりますので、お願いしたいと思っております。

○服部市長 補足説明と直しがあれば担当の方でしていただけると、ありがたいのですが、19日に終わった定例市議会で、約6億5千万円ですか、令和5年度から対応するための環境整備を確立するための予算を議会でも認めてもらいましたので、予定通り令和5年に1人1台になった時には、十分にそれに対応できるような準備を進めている段階です。

補足があったらお願いします。

○村上教育センター所長 はい。

○服部市長 教育センター所長。

○村上教育センター所長 今、市長からお話があったとおり、本市におきましても、関係部局と協議しまして、議会の方でも、令和5年度までに児童生徒1人1台の環境を実現するために、国の補助金を活用させていただいて、来年度から計画的に整備を進めて参ることになっております。

○服部市長 万全の準備をしているとご理解いただければと思います。

あと何かございますか。

○石井委員 僕は、一番このICTの関係というか、今回のコロナウイルスの関係で、学校の長期休業が、日本だけじゃなくて世界的にやられているところが多くて、報道等を見ますとICTを活用して学校と家庭を結んだ遠隔授業というのですか。

それが家庭学習の支援というのを、よく目にしますけれども、韓国はすごく進んでいるなど思っており、1人1台のタブレットも大事だし、その中でこういうことがあっても、授業、学力の面でロスがないようにやれると、すごくありがたいことだと思います。

将来的に、緊急時でも子どもの学びを止めることなくやれるためにも、そ

ういうICTに、お金がかかる問題は本当難しいと思うけれども、国で出ている1人1台という話は、きちんと八千代市としても進めていただいて。

でも本当に、昔は10年一昔で、このICTに関しては、5年で一昔どころではないペースで進んでいますので、なるべく今の子どもたちがそういうものにちゃんと対応して、ついていけるように市としても応援して欲しいなと思います。

○服部市長 万全を期していきたいと思います。

あと何かございますか。

よろしければ、議題2の意見聴取についてはここまでとさせていただきます。

それでは最後に、議題3「その他」についてですけれども、委員の皆さんから何か問題提起があれば、お願いいたします。

なければ私の方からいいでしょうか。

昨日の新聞だったと思いますが、松戸市で今年の運動会を取り止めて、運動会や運動会の準備に掛かるであろう時間を、今回の休業で不足した授業に充てるという報道がありましたけれども、これに関して教育委員会は、どんな考えをお持ちなのか、私からちょっとお聞かせいただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○吉村教育次長 はい。

○服部市長 吉村次長。

○吉村教育次長 松戸市の対応につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止と臨時休校で不足している授業時間を確保するための対応ということで承知しております。

本市におきましては、昨日、校長会議を開きまして、各学校で把握している未指導分の学習内容につきまして、補充の方法を各学校で検討して、必要な授業日数を確保するなど、弾力的に対応することを確認したところでございます。

なお、未指導分の学習内容やその対応につきましては、学校だより、学年だより、校長だより、学校HP等を活用して、保護者にも丁寧に周知していくことを確認しております。

教育委員会におきましても、各学校で未指導分の学習がきちんと補充されるように注視してまいりたいと考えております。

また、運動会や修学旅行につきましては、現在のところ国や県の通知を鑑み、延期の可能性や実施する場合の留意事項等について、近隣校との協議も含め、各学校で十分に検討することとしております。教育委員会としましても、国や県の動向はもちろん近隣他市の動向を日常的に集約し、校長会に情報提供していくということを確認したところでございます。

いずれにしましても、今後も状況をしっかりと把握し、市の対策本部とも連携し、児童生徒及び教職員の生命・健康・安全を最優先とした対応をしてまいりたいと考えております。

○服部市長 今後の対応ということで、ただいま御説明をいただきましたが、教育委員の皆様から御意見や御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、ただいま御説明いただきましたように、近隣市などに遅れないようにお願いできればと思います。一部では、春の運動会を秋に延期ということもありますので、それをもう少し進めたのが松戸市なので、慎重に判断いただき、子どもたちに過不足のない環境を提供していただきたいと思えます。

それではいろいろ議論して参りましたが、今のその他についての議論も踏まえた上で、他に何か意見がありましたらお願いしたいと思えますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○事務局 事務局から連絡事項がございます。

○服部市長 事務局。

○事務局 来年度の協議事項について、お話をさせていただきます。

本市におきましては、第4次総合計画後期基本計画の教育に関連する部分を教育大綱とし、策定しておりますが、後期基本計画の終期が令和2年度となっております。

現在、令和3年度からの第5次総合計画の策定作業を進めているところでございますが、教育大綱につきましても次期総合計画の策定に合わせて改定を行う必要がございます。

来年度，この会議で協議をお願いしていくこととなりますので，よろしく
お願いいたします。

8 閉 会

○服部市長 それでは，以上をもちまして，令和元年度第2回八千代市総合
教育会議を終了いたします。

本日は，ありがとうございました。